

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4049375号
(P4049375)

(45) 発行日 平成20年2月20日(2008.2.20)

(24) 登録日 平成19年12月7日(2007.12.7)

(51) Int. Cl. F 1
GO 1 N 29/14 (2006.01) GO 1 N 29/14

請求項の数 1 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2003-2980 (P2003-2980)	(73) 特許権者	501218810
(22) 出願日	平成15年1月9日(2003.1.9)		独立行政法人北海道開発土木研究所
(65) 公開番号	特開2004-219075 (P2004-219075A)		北海道札幌市豊平区平岸1条3丁目1-3
(43) 公開日	平成16年8月5日(2004.8.5)		4
審査請求日	平成17年11月17日(2005.11.17)	(73) 特許権者	303057365
			株式会社間組
			東京都港区虎ノ門二丁目2番5号
		(73) 特許権者	501254955
			川崎地質株式会社
			東京都港区三田2丁目11番15号
		(73) 特許権者	000140292
			株式会社奥村組
			大阪府大阪市阿倍野区松崎町2丁目2番2号

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 A E計測方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

岩石の微小破壊に際してのA Eを検出する受振機能と、受振機能で検出する振動を発生する発振機能とを具備するとともに、受振機能と発振機能を切り替える切り替え手段を備えているA E計測体を、探査対象の地山に複数組埋設して地山を探査する方法であって、

地山の探査対象領域を、地山に埋設した複数の前記A E計測体で囲繞し、
発振機能に切り替えたそれぞれのA E計測体から順次発振させたP波を、受振機能に切り替えた他のA E計測体で受振して、それぞれの伝播時間を測定し、
測定した各A E計測体間のP波の伝播時間に基づいて、計測対象領域のP波伝播速度の分布を算出し、
算出したP波伝播速度の分布に基づいてA E発生位置を特定することにより高精度で破壊位置を特定することを特徴とするA E計測方法。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、急傾斜の岩盤斜面の大規模な崩壊現象の予兆や変状を検知する技術に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

20